

平成29年11月定例会提出予定案件概要

名古屋港管理組合

《日程》

議員総会 平成29年11月 7日 (火) 10時予定

定例会 平成29年11月14日 (火) 13時30分予定

平成 2 9 年 1 1 月 定 例 会 提 出 予 定 案 件

種 別	件 数	番 号	件 名						
予 算	2 件	第 11 号議案	平成 29 年度名古屋港管理組合一般会計補正予算						
		第 12 号議案	平成 29 年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算						
条 例	3 件	第 13 号議案	名古屋港管理組合個人情報保護条例の一部改正について						
		第 14 号議案	専任副管理者の給与の特例に関する条例の制定について						
		第 15 号議案	名古屋港臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例及び名古屋港の港湾区域内又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例の一部改正について						
そ の 他 案	6 件	第 16 号議案	指定管理者の指定について（新舞子マリンパーク、南浜緑地及び北浜緑地）						
		第 17 号議案	指定管理者の指定について（中川口緑地始め 8 緑地）						
		第 18 号議案	指定管理者の指定について（富浜緑地（名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）等を除く。）始め 8 緑地）						
		第 19 号議案	指定管理者の指定について（名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）等）						
		第 20 号議案	指定管理者の指定について（名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園）						
		第 21 号議案	権利の放棄及び和解について						
報 告	3 件	第 5 号報告	専決処分 of 報告について（大江ふ頭岸壁改良工事（その 2））						
		第 6 号報告	専決処分 of 報告について（損害賠償の額の決定及び和解）						
		第 7 号報告	平成 28 年度名古屋港管理組合公営企業の資金不足比率の報告について						
認 定	4 件		平成 28 年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算						
			平成 28 年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出決算						
			平成 28 年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算						
			平成 28 年度名古屋港管理組合埋立事業会計決算						
法人の経営状況を説明する書類の提出について (6件)			<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社</td> <td style="width: 50%;">4 名古屋港埠頭株式会社</td> </tr> <tr> <td>2 名古屋臨海鉄道株式会社</td> <td>5 公益財団法人名古屋港緑地保全協会</td> </tr> <tr> <td>3 公益財団法人名古屋みなと振興財団</td> <td>6 名古屋四日市国際港湾株式会社</td> </tr> </table>	1 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社	4 名古屋港埠頭株式会社	2 名古屋臨海鉄道株式会社	5 公益財団法人名古屋港緑地保全協会	3 公益財団法人名古屋みなと振興財団	6 名古屋四日市国際港湾株式会社
1 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社	4 名古屋港埠頭株式会社								
2 名古屋臨海鉄道株式会社	5 公益財団法人名古屋港緑地保全協会								
3 公益財団法人名古屋みなと振興財団	6 名古屋四日市国際港湾株式会社								

平成29年度名古屋港管理組合補正予算（案）の概要

1 予算編成

(1) 一般会計

平成29年度11月補正予算については、当初予算成立後に新たに生じた事項で、歳入は、前年度繰越金のほか、行政財産特別使用料、財産売払収入及び指定管理者からの納付金の増額を計上した。

歳出は、防災対策として中川口通船門耐震補強工事、安全対策として金城ふ頭物揚場補修工事並びにヒアリの水際での防除に向けた調査等の緊急的に必要な経費及び繰上償還に伴う公債費の増額を計上した。また、平成28年度指定管理者からの納付金等を基金に積立てるため、基金特別会計への繰出金を計上した。

(2) 基金特別会計

歳入は、一般会計からの繰入金金の増額等、歳出は、歳入予算補正に対応した各基金への積立金の増額を計上した。

2 予算規模

区 分	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
一 般 会 計	千円 26,730,000	千円 593,000	千円 27,323,000
基 金 特 別 会 計	674,600	94,900	769,500
施 設 運 営 事 業 会 計	5,043,000	—	5,043,000
埋 立 事 業 会 計	1,389,000	—	1,389,000
合 計	33,836,600	687,900	34,524,500

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

3 予算概要

(1) 一般会計補正予算

	千円
防災対策の推進に必要な単独工事費の増額 ○中川口通船門耐震補強 [財源：繰越金]	192,000
緊急的に必要な工事費等の増額 ○金城ふ頭物揚場補修 ○名古屋港ヒアリ調査等委託 <u>800万</u> [財源：使用料及び手数料、繰越金]	32,300
指定管理者納付金等の基金積立て ○水族館振興基金繰出金 [財源：財産収入、諸収入]	93,778
繰上償還に伴う公債費の増額 [財源：繰越金]	274,922
一般会計 補正額	593,000

空洞化調査は
 やっている。
 鋼矢板の設置時期
 同時期設置の場所

内容の詳細 資料

シエンゾーペンギン売却
 520万円

(2) 基金特別会計補正予算

	千円
名古屋港水族館運営収支差額の積立金等の増額	94,900
基金特別会計 補正額	94,900

港建

国からはまだ
 出ていな...

平成29年11月定例会提出予定案件（予算以外）

1 条例

(1) 名古屋港管理組合個人情報保護条例の一部改正

要配慮個人情報の定義を明確にし、要配慮個人情報の収集の制限等の事項を追加

人種・信条・犯歴(被害含む)

個人情報保護法 各例(受知)の改正を受けて

(ポトセキ法) PSカード → ゲントの出入り、本人確認

(2) 専任副管理者の給与の特例に関する条例の制定

平成29年12月1日から平成33年4月27日まで、給料を10%、期末手当を10%削減

(3) 名古屋港臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例及び名古屋港の港湾区域内又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例の一部改正について

港湾情報提供施設について、名古屋港臨港地区内のすべての分区において建設可能とし、また、水域占用等の許可について、港湾協力団体がその業務として行うものに関し、国・地方公共団体が水域占用等を行う場合と同様に、本組合との協議をもって許可に代える旨を規定

展望室・博物館の様なもの

港湾法の改正

2 その他議案

(1) 指定管理者の指定

施設の名称	指定管理者となる団体（候補者）	指定の期間	応募団体数
新舞子マリナーパーク、南浜緑地及び北浜緑地	株式会社日誠	平成30年4月1日から平成34年3月31日まで（4年間）	2団体
中川口緑地始め8緑地	公益財団法人名古屋港緑地保全協会		2団体
富浜緑地（名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）等を除く。）始め8緑地	公益財団法人名古屋港緑地保全協会		1団体
名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）等	株式会社ウッドフレンズ		3団体
名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園	公益財団法人名古屋みなと振興財団		1団体

前回ホ-メックス

前回緑地保全協会

ネーミングライツはセ-ットで募集したのか

(2) 権利の放棄及び和解

中川運河沿岸の公有地を使用していた者が死亡し、及び同者の経営していた会社が破産したので、公有財産の適正な管理及び有効活用とするため、相続財産管理人及び破産管財人の管理する建物等の所有権を放棄させ、本組合がその裁量により撤去等の処分を行うとともに、当該建物等の原状回復に係る請求権を放棄する和解

3 報告

(1) 契約の変更（大江ふ頭岸壁改良工事（その2））

労務単価等の上昇によるインフレスライドや、工事施工に伴う数量精査等により契約金額の増額変更（1,028,379,240円→1,033,352,640円）

(2) 損害賠償の額の決定及び和解

本組合職員による車両損傷事故（場所：名古屋港船舶通航情報センター南東側護岸背後 賠償額：80,547円）

差額497万.

(3) 平成28年度公営企業（施設運営事業会計・埋立事業会計）の資金不足比率の報告（資金不足額なし）

4 認定

平成28年度決算書類の提出（一般会計・基金特別会計・施設運営事業会計・埋立事業会計）

5 議員総会その他説明事項

(1) 名古屋港審議会提出予定案件（平成30年1月開催予定）

臨港地区の指定及び分区の指定・変更	鍋田ふ頭（ゴルフ場用地、緑地） 飛島ふ頭（コンテナターミナル拡張用地）など
港湾隣接地域の指定及び解除	中川運河（堀止）、大江ふ頭（山崎川左岸）など
港湾環境整備負担金対象工事の指定	負担金徴収予定額：8,544万9千円 (1㎡当たりの負担金額 3.07円)

(2) 国際競争力の強化に向けた取組について

ア コンテナ取扱機能の強化

- ・飛島ふ頭東側NCBコンテナターミナルR1、R2岸壁改良工事の推進
- ・東航路の水深16mへの増深（平成29年度全面供用予定）
- ・飛島ふ頭南及び南側コンテナターミナルの拡張エリア（中部電力株式会社所有地）の取得（平成30年度目途）

イ 港湾運営会社制度の取組

- ・伊勢湾の港湾運営会社による一体的なコンテナターミナル運営の実現に向けて、平成29年5月17日に「名古屋四日市国際港湾株式会社」（以下「名四港湾㈱」という。）を設立
- ・名四港湾㈱は、9月1日に港湾運営会社の指定を受け、コンテナターミナルの運営を開始
- ・今後、名四港湾㈱は、両港のコンテナターミナルにおける経営計画の作成や、無利子貸付金を活用したガントリークレーン等の上物施設整備を進めるなど、港湾利用者サービスの向上に取り組んでいく。本組合としても、同社と連携を図り、国際競争力強化に取り組む。

ウ 国際バルク戦略港湾の取組

穀物で選定された他港の動向を注視しつつ、関係者の意見を十分に聞きながら、全体行程の見直しや事業費削減などを含めた計画内容の検証を進めていく。

エ 完成自動車取扱機能の強化

- ・金城ふ頭84号岸壁の水深12メートルへの増深（平成29年度完了予定）
- ・金城ふ頭における保管用地の造成について、環境影響評価の準備書の手続きを進めている。

オ 集貨拡大、産業立地の促進に向けた取組

- ・弥富ふ頭第1貯木場埋立地の未売却地（3.9ha）及び飛島ふ頭第2貯木場埋立地の未売却地（7.2ha）の分譲公募を行い、今後審査・選考を行った分譲予定者とは、平成30年1月には条件付の譲渡仮契約を締結する予定
- ・飛島ふ頭第2貯木場埋立地の未売却地の一部約6.4haについては、リニア中央新幹線建設に係る用地として、JR東海と貸付期間を約9年間とする賃貸借契約を8月1日付で締結

カ 道路ネットワークの形成

国等により平成32年度の開通を目途に整備が進められている名古屋環状2号線（西南部・南部）や西知多道路について、関係者と一体となって整備促進の要望を行っている。また、一宮西港道路や名古屋三河道路など将来の広域道路の具体化に向けて、関係機関とともに取り組んでいく。

(3) 名古屋港の防災対策について

ア ハード対策

- ・高潮防波堤は、地震・津波対策として、上部工の嵩上げやケーソン補強等の対策を平成28年度末に完了
- ・防潮壁は、総延長約26.4kmのうち、経年沈下により天端高が不足している箇所の嵩上げ工事を、高潮対策として実施しており、平成29年度完了予定。また、地震・津波対策として、水際線に面し背後地盤高が低い区間の液状化対策等を優先的に実施しており、約1.7kmが整備完了。引き続き、三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画において、今後10年以内に着手及び着手検討する箇所として位置付けられた15.7kmについて、平成30年度完了を目途に調査を実施し、対策が必要な箇所について整備を推進
- ・堀川口防潮水門は、平成33年度完了を目途に躯体の耐震補強工事を実施中
- ・中川口通船門は、平成30年度完了を目途に躯体の耐震補強工事を実施中

イ ソフト対策

名古屋港港湾機能継続計画（名古屋港BCP）及び伊勢湾港湾機能継続計画（伊勢湾BCP）について、関係者と連携し、訓練を行いながら実効性の向上に取り組んでいく。

(4) 「ヒアリ」等の対策について

名古屋港ではコンテナターミナル等において特定外来生物「ヒアリ」及び「アカカミアリ」が確認されており、現在、本組合は環境省、愛知県等の関係機関等と連携して水際での防除に取り組んでいる。

執行機関における国への要望について、7月13日、国土交通大臣に対し、特定外来生物が非意図的に持ち込まれることを防止する総合的な対策の実施及び港湾管理者等が実施する対策にかかる費用の財政的な支援について要望した。また、9月11日には、六大港湾協議会として、国土交通大臣に対し、積出港における対策も含めた総合的な施策の実施、国及び港湾管理者の間での連携体制構築等について要望した。

議決機関における国への要望について、本組合議会議長、愛知県議会議長及び名古屋市会議長の三者で、7月24日、国土交通大臣、環境大臣に対し、ヒアリ等への総合的な対策に関する緊急要望がなされた。

(5) ネーミングライツの取組について

関係地方公共団体の導入事例等を勘案し、まずは、名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）についてネーミングライツパートナーの公募を行っていく。（契約期間：平成30年4月～平成34年3月）

平成29年12月に募集を開始し、選定委員会（外部有識者）の審査を経て、平成30年2月に優先交渉権者の決定及び契約の締結を行い、4月に愛称の使用を開始する予定である。

6 ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会説明事項

(1) ガーデンふ頭の状況

ア 名古屋港水族館

- H29.2 ~ H30.3
- ・平成29年度上半期の入館者数は、前年同期比114%の約139万人となった。
 - ・メインプールの大型映像表示装置の補修工事を行うとともに、カメ回遊水槽の補修工事に取り組んでいく。
 - ・今後も、学术交流協定を締結している研究機関と連携し繁殖やより良い飼育環境の研究を鋭意推進するとともに、シャチの公開トレーニング内容の充実を始め人気のあるくらげの今後の展示の取組・イベントの開催により、更なる集客に努めていく。
- 11月
- 飼育員のラジオ放送

イ 名古屋港ポートビル・南極観測船ふじ

名古屋港ポートビル（展望室・名古屋海洋博物館）及び南極観測船ふじの3施設の平成29年度上半期の入館者数は、前年同期比113%の約29万人となった。

ウ イベントの開催

- ・今年は名古屋港開港110周年を迎えたことから、従来から開催されているイベントを最大限活用し、より一層にぎわう名古屋港となるよう、PRを行っている。
- ・今後は、11月に練習帆船が2隻同時寄港し一般公開等を行うほか、12月にフェリーを活用した記念市民クルーズを予定している。
- ・12月に開催されるプロジェクションマッピングを名古屋港ポートビルに投影する「名古屋港 FIREWORKS by NAKED ー光の雪花火ー」に向けて準備を進めている。

エ クルーズ船の入港状況

- ・本年は、名古屋港への入港予定隻数33隻の内、ガーデンふ頭利用船は31隻の見込みとなっており、11月からはコスタクルーズによる太平洋周遊クルーズでのガーデンふ頭への複数回寄港が始まっている。
- ・クルーズ船の寄港増加に向けたより効果的な取組について、行政機関、地元経済界等で構成する名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議を中心に検討を行っており、今年度末を目途に行動計画として取りまとめる予定である。

